

記者発表資料  
平成11年 4月22日  
環境保全局環境監視センター  
担当課長 宇田川 TEL671-3445

## 大気中のダイオキシン調査結果について

### —平成10年度調査結果—

#### 1 調査の趣旨

本市では，市域の大気環境中のダイオキシン濃度を把握するため，平成9年10月から季節ごとに9地点で定点測定を行っています。

このたび，平成11年2月3～4日，4～5日（冬季）の測定結果ができましたので，先に公表しました平成10年春，夏，秋の結果と併せ，平成10年度の調査結果をお知らせします。

#### 2 調査の方法

調査は，市内9地点で，平成10年5月，8月，11月，平成11年2月にそれぞれ24時間サンプリングを2回連続して行い，各地点2検体，合計72検体の分析を行いました。

また，これらの測定地点は，いずれも大気汚染物質濃度を常時測定している本市の一般環境大気測定局で，臨海部，都心部，郊外部等の地域性を考慮し，選定したものです。

#### 3 測定結果

##### (1) 各地点の測定値及び年平均値

<平成10年5月，8月，11月の調査結果は各々発表済みです。>

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

測定地点	10年5月 春		10年8月 夏		10年11月 秋		11年2月 冬		年平均値
	①	②	①	②	①	②	①	②	
1 鶴見区生麦小学校	0.17	0.28	1.0	0.68	0.39	0.39	0.14	0.21	0.41
2 西区平沼小学校	0.23	0.25	0.47	0.55	0.38	0.34	0.13	0.77	0.39
3 中区本牧	0.20	0.23	0.51	0.47	0.30	0.27	0.18	0.17	0.29
4 旭区鶴ヶ峯小学校	0.33	0.25	0.32	1.1	0.35	0.54	0.21	0.20	0.41
5 港北区総合庁舎	0.21	0.19	0.36	0.28	0.38	0.37	0.20	0.21	0.28
6 青葉区総合庁舎	0.37	0.29	0.19	0.17	0.38	0.50	0.085	0.18	0.27
7 戸塚区汲沢小学校	0.20	0.27	0.23	0.32	0.40	0.54	0.16	0.22	0.29
8 栄区犬山小学校	0.34	0.20	0.15	0.16	0.26	0.38	0.073	0.12	0.21
9 瀬谷区南瀬谷小学校	0.35	0.24	0.48	0.30	0.41	0.57	0.33	0.31	0.37
市内9地点の平均	0.27	0.24	0.41	0.45	0.36	0.43	0.17	0.27	0.32

単位 pg：ピコグラム。1ピコグラムは，1兆分の1グラム。

TEQ = 「毒性等量」。ダイキシン類の量を，ダイキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-p-パラ-ジキシンの量に換算した量として表していることを示す符号。

<裏面あります>

- (2) 調査した市内9地点それぞれの年平均値は、0.21～0.41 pg-TEQ/m<sup>3</sup>の範囲にあり、9地点の平均は、0.32 pg-TEQ/m<sup>3</sup>でした。
- (3) 年平均値は、各調査地点とも、環境庁で定めている大気環境指針値（参考－1）を下回っています。
- (4) 各地点の年平均値は、環境庁の調査による全国的な測定結果（参考－2）と比較してみますと、大都市地域並みの値となっています。

<参考－1>

環境庁の指針値は、年平均値0.8 pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下です。

なお、この指針値は、一生涯という長期にわたる暴露を想定し、大気環境濃度の年平均値として示されたもので、大気環境濃度がこの指針値を上回る場合であっても、直ちに人の健康に影響を及ぼすとはいえないとされています。

<参考－2>

平成9年度有害大気汚染物質モニタリング調査結果について（環境庁）

平成9年度ダイオキシン類モニタリング結果の詳細  
（単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>）

測定地点 (大都市地域)	平均	夏	冬
北海道札幌市	0.010	0.010	0.010
東京都新宿区	0.50	0.45	0.54
大阪府大阪市	0.47	0.61	0.32
愛知県名古屋市	0.30	0.23	0.37